

# 創立60周年を迎えて

1957年(昭和32年)、本校は「豆相マッサージ学校」として設立され、本年60周年を迎えることが出来ました。これまで支えて下さいました関係各位をはじめ、教職員ならびに卒業生の皆様に心から感謝を申し上げます。

大戦後のわが国は急速な高度成長の時代を迎え、熱海をはじめ伊豆、箱根などの温泉地には多くの観光客が訪れるようになりました。マッサージ師の需要も増大し、質の高いあん摩マッサージ指圧師養成が急務となる中、本校は斯界有志の手によって設立されました。当初から実践重視の教育を掲げ、授業が終えた課外においても学校で学んだことを旅館やホテルで“実践”するという、まさにOJT(On the Job Training)の形態で学生たちは腕を磨きました。当時の学生たちの技術レベルは相当高かったと聞いております。

1988年(昭和63年)のあはき法改正により、あはき師免許は厚生労働大臣が付与する国家資格となり、入学資格および修業年限は高卒3年以上に引き上げられました。本校はこの法改正を機に「あん摩マッサージ指圧課程」から「あん摩マッサージ指圧・はり・きゅう課程」へと教育課程を変更し、はり師きゅう師養成に取組みました。平成8年には現校名の「東海医療学園専門学校」と改称し、発展期を迎えます。当時は入学定員の3~5倍程度の入学希望者があり、“狭き門”をくぐった学生たちは皆積極的に学びました。その多くが、今では地域の保健医療やスポーツを支え、また、後進の指導・教育に従事する人材として活躍していることは、大きな喜びとするところであります。

2014年(平成26年)には、附属施術所および実習室、トレーニング施設等を含む実習棟が完成。同年、鍼灸マッサージ科・鍼灸科共に、文部科学大臣より職業実践専門課程として認定されました。

現在は、県内唯一のあん摩マッサージ指圧師養成施設として、また、県東部唯一の(公財)日本体育協会公認アスレティックトレーナー養成コースとして、開校以来の理念である“健康を支える人づくり”に努めております。

10年後のわが国は、“国民の5人に1人が後期高齢者”という未曾有の超高齢社会になると予想されています。キーワードは「未病」、そして「健康寿命」であり、この分野を支える人材として鍼灸マッサージ師やアスレティックトレーナーに大きな期待が寄せられています。

創立60年を節目として、皆様方への感謝の気持ちを忘れずに、教職員一丸となって“健康を支える人づくり”に邁進していく所存であります。これからも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、挨拶といたします。

学校法人東海医療学園  
理事長  
杉山誠一

